

第5章 杉原千畝のビザの謎

120781114 漆崎昌尚

1.杉原千畝もビザの謎

杉原千畝：元外交官（1900～1986年）

a) 命のビザを発行

ア) ユダヤ人に対して日本通過ビザを発行

イ) ユダヤ難民6千人を救済

b) 戦後外務省を解雇

ビザ発行の責任

2.八百津町に記念館

岐阜県八百津町：杉原の故郷

1940年7月18日

a) リトアニアの日本領事館に大量のユダヤ人
ア) ナチスの迫害を回避

イ) 日本の通過ビザの獲得

b) ユダヤ人の逃げ場はオランダ領キュラソー島
日本の通貨ビザが必要

c) ビザ発給の許可

ア) 外務省からの返答は不許可

イ) 杉原の一存で発行

3.ナチスドイツと諸国の冷たい反応

反ユダヤ主義

ア)政治、民衆レベルで反ユダヤ的
ユダヤ人の逃げ場のキュラソー島

→他の国が入国ビザを無発行

イ)日本は公正で同情的

1942年

ユダヤ人全滅の申請を拒否

4.ビザ発給の形式的条件

a) 外務省の訓令

行き先国の入国手続きの済んだものに発行

→ユダヤ人を非迫害

b) 同情のあまり発行

人間性、人道愛が存在

5.不備なビザでも入国できた謎

条件不備だが6千人のユダヤ人が入国

外務省、政府、軍部の協力

→杉原が国の意図に忠実

6.杉原氏の戦後

外務官を解雇

a)例の件の責任

→命のビザ

b)外務省職員のリストラ

約三分の一が解雇

7. 顕彰への道

a) ユダヤ人が杉原の搜索

1968年

イスラエル大使館のニシェリー参事官が発見

b) 名誉ある表彰

1985年

東京のイスラエル大使館で

ヤツド・バシエム賞を表彰

c) 杉原の逝去

1986年

86歳で逝去

第6章 樋口季一郎とオトポール事件

樋口季一郎：陸軍少将

1.ユダヤ難民を初めて救った日本人

命のルート

杉原ビザの2年半前

2.シベリア鉄道の果てにユダヤ難民

ソ連側の終点「オトポール」に2万人のユダヤ人

3. 樋口将軍の決断

a) 満州国がユダヤ人の入国を拒否した場合
人命に関わる問題

b) 満州国外交官と協議

ア) ビザを発行

イ) 救援列車の出勤の手配

c) 樋口ルートでの完成

ユダヤ人が安住の地を求めて渡航

4.ユダヤ人協会の感謝

ハルピン・ユダヤ人が謝恩の会を開催
ドイツのユダヤ人追放を批判

5.東条参謀長に所信をのべて

a)ドイツ政府の抗議

樋口が批判したことに対し激怒

b) 樋口の所信

国策が他国に迷惑

→批判の対象

6. 樋口将軍のその後

a) ユダヤ国民基金に記録

在満時代の樋口の功績が対象

b) 第五方面軍司令官に任命

c) 戦犯狩り

ア) ハルピン特務機関長としてソ連と戦闘
→ 樋口を戦犯に指名

イ) 連合軍司令部に引き渡しを要求

I) 要求を拒否

II) アメリカのユダヤ人が救済を要求